

ま え が き



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の現状について公表し、県民の皆様にご理解をいただいておりますが、今回は、令和2年度上半期における財政の状況と令和元年度の決算状況について、そのあらましをご説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本県は、「感染拡大の防止」と「社会経済活動の正常化」の両立が求められる、かつて経験したことのない難局を迎えています。このため、4月補正予算や6月専決予算を編成し、緊急性が高い対策について、速やかに予算措置を講じるとともに、この難局を乗り切るために、6月補正予算では、

医療提供体制の安定的な確保や、厳しい経営状況にある企業の事業継続への支援などについて、過去最大規模となる財政調整基金を取り崩し、これまでに前例のない大型補正予算を編成いたしました。

さらに、9月補正予算では、足下の状況やこれまでの経験を踏まえ、検査・医療提供体制の更なる確保・充実や、事業者の事業活動の継続とコロナ時代への適応について、追加対策を講じるとともに、国の追加認証を得て、災害に強い県土の基盤づくりを更に推し進めていくこととしました。

一方、令和元年度の一般会計の決算につきましては、社会保障関係経費等の増加などにより厳しい財政運営が続いている中で、職員数の削減や県債の繰上償還など、不断の行財政改革を積み重ねてきた結果、平成24年度以降8年連続で、基金を取り崩すことなく収支均衡を達成できました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの闘いは長期間となることを見込まれ、今後、厳しい財政状況が続くことが想定されます。これまで以上に、施策全般にわたり事業内容を精査し、事業の選択と集中を図るとともに、引き続き、行財政改革に努め、中長期的な展望にも立った持続可能な財政運営に取り組んでまいります。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

令和2年12月1日

石川県知事 谷 本 正 憲

も く じ

第1 令和2年度上半期の財政状況	2
I 予算編成のポイント	2
II 補正予算の重点施策	2
III 一般会計補正予算と現計予算の状況	6
第2 令和元年度決算の状況	10
I 令和元年度の決算	10
II 一般会計歳入、歳出の状況	12
III 特別会計、事業会計の決算	17
IV 財政健全化に関する指標	19
第3 企業会計的手法を用いた財政状況の分析（本県の財務諸表）	23
I 作成の目的	23
II 行政コスト計算書	24
III 貸借対照表	26
IV 純資産変動計算書	28
V 資金収支計算書	29
資料編	31